



# 金井中だより

〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地  
TEL 0259-63-4107 <http://kanai-js.sado.ed.jp/>

## 《本号の内容》

- |    |                    |
|----|--------------------|
| 1面 | 巻頭言                |
| 2面 | 2学期の授業研究           |
| 3面 | いじめ見逃しゼロ           |
| 4面 | 職場体験発表会<br>生徒会役員選挙 |

## 子どもの力を引き出し高める学習課題

校長 香遠 正浩

学期末に実施する生活アンケートに「**学校が楽しいと感じますか**」という項目を設けています。1学期は86%でしたが、2学期は全校の91%の生徒が肯定的な回答をしました。「楽しさ」の要素はいくつか考えられますが、学校生活の大半を占める**授業が「分かる」「できる」かどうか**は大きな要因と言えるでしょう。今学期、「**毎日の授業の学習内容が分かる**」と回答した生徒は86%でした。

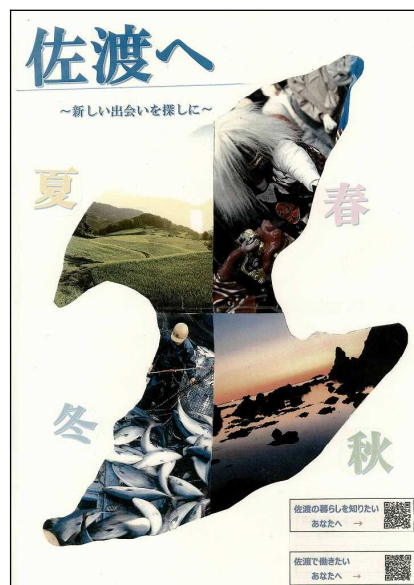
少子化の進行、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新等により、社会は大きく急速に変化しており、予測が困難な時代となっています。

来年度から全面実施となる新学習指導要領でも、正解がないと言われるこれからの時代に対応できる資質・能力を育成することを求めています。新しい教育のキーワードは「**主体的・対話的で深い学び**」です。これは教科書に書いてあることを教師が教えて生徒が覚えるというスタイルの学習ではなく、生徒に考えさせ、生きて働く知識や技能を生徒が協働により創り出す過程を重視した学習です。当校では、そのような学習指導を先行実施しています。（金井中だより「思考力を高める授業」参照）

深い理解を伴う知識を習得したり、知識や技能を活用して課題を解決したりするには「**思考力、判断力、表現力**」が欠かせません。そこで、授業では、社会や生活の中で直面するような未知の状況を設定し、生徒が学習意欲や問題意識をもって解決できそうな「**学習課題**」の提示に努めています。

2年生の課題解決型職場体験でも、各事業所から学習課題（ミッション）を提示していただき、生徒はその解決に取り組みます。佐渡市地域振興課から出されたミッションは「**佐渡で働きたい人を増やすためにできることはないか**」というものでした。生徒は考えを出し合い、友達と力を合わせて素敵なポスター（右写真）を作ることができました。とてもよいミッションでした。

この例からも、学習課題がいかに重要であるかが分かります。冬休みも各教科担当から学習課題が提示されていますが、それとは別に自ら課題を見付け、その解決に取り組むことを期待しています。



## 思考力を高める授業 ③

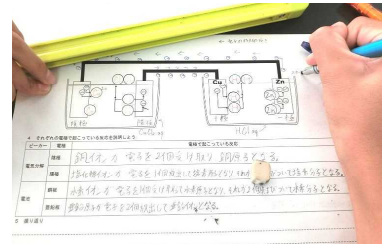
2 学期後半に行った 6 つの授業を紹介します。このような授業を全学級で行っています。

村田教諭 3 B 理科「電池の仕組み」(10月29日)

塩酸の化学電池を用いると電流が流れる理由を説明できるようにすることを目指しました。電流は目に見えないので、イオンや電子に着目させ、モデル図と関連付けてとらえさせました。

生徒はホワイトボード上でマグネットを動かしながら電気分解と電池の電極の反応について考え、教え合いました。

そして、4つの電極で起こっている反応を書くことができました。



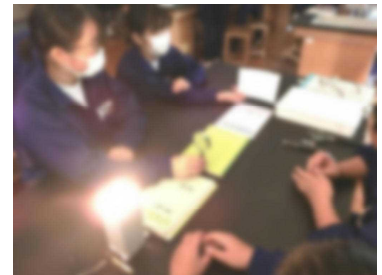
宗村教諭 2 B 保健体育「倒立前転」(11月4日)

模範となる倒立前転のロー映像を見せ、技のポイントを問い、「ひじを曲げること」「頭をしまうこと」「後頭部から着くこと」を確認しました。そして、この3つを踏まえてグループでアドバイスをしながら練習させました。マット運動が苦手な生徒も含め、どの班も、補助をしたり助言をしたりしながら一生懸命に練習し、1時間で技能の上達も見られました。



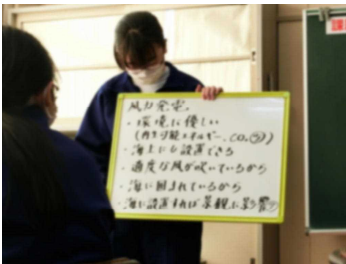
鍛冶山教諭 1 B 理科「凸レンズ」(11月19日)

凸レンズを使うと教室の蛍光灯を机上に映せることを知った子どもに、光源の画像をスクリーンに映すことができるか自由に実験させました。最初はどの班もなかなか映し出すことができませんでしたが、班員と協力して、スクリーン上にきれいな像を映そうと工夫し、意欲的に取り組む姿が見られました。「光源から凸レンズまでの距離が関係している」ことに気付いた班もありました。



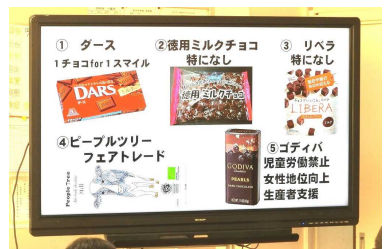
荒木教諭 2 A 技術「様々な発電方法」(12月2日)

様々な発電方法の中でベストなものは何か。生徒は太陽光や風力、水力、地熱がよいと考えていました。ところが、発電の現状、経済的な側面、環境負荷、安全性、社会からの要求、自給率等に関する資料により、生徒の考えは揺さぶられました。当初風力発電がベストと考えていたSさんは「佐渡の現状を考えると火力発電でやむを得ない。太陽光発電と併用するとよい」とまとめました。



中川教諭 3 A 社会「消費生活と経済」(12月9日)

限られた所得(収入)の中で消費(支出)する際、どのチョコレートを選択し、購入(契約)するか。この課題に対し、生徒は最初味、価格、内容量、カロリーを基に選択しました。その後、児童労働、貧困、環境破壊の現状やフェアトレードという社会貢献の取組を知り、「より良い社会づくりの視点」も加えて多面的・多角的に考え、理由を付けてチョコレートを選択することができました。



橘 教諭 1 B 保健体育「跳び箱運動」(12月16日)

跳び箱の「頭はね跳び」ができるようになるために模範演技の映像を見せ、7つのポイントや補助の仕方を説明しました。

生徒は自分に合った高さの跳び箱で、自分に合った練習方法を考えながら試行を重ねました。生徒はグループ内で補助や助言をしてもらいながら練習することで少しずつコツをつかみ、補助なしでもできるようになっていきました。





# 「いじめ見逃しゼロスクール集会」

生徒会担当 嶋倉 久子

11月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」でした。この期間、当校では「いじめ防止、根絶」をテーマに、生徒会本部・専門委員会が中心となって様々な活動に取り組みました。そして、12月10日（木）にその取組の成果を発表し合い、さらにみんなでいじめ根絶を考えるために「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。

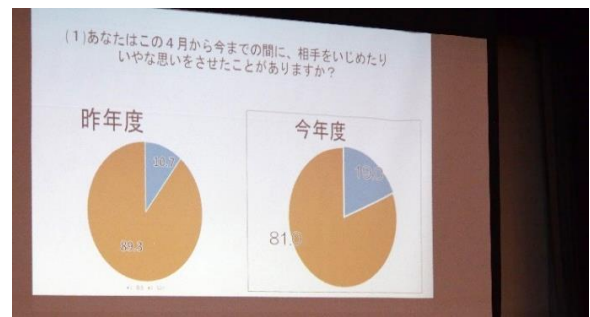
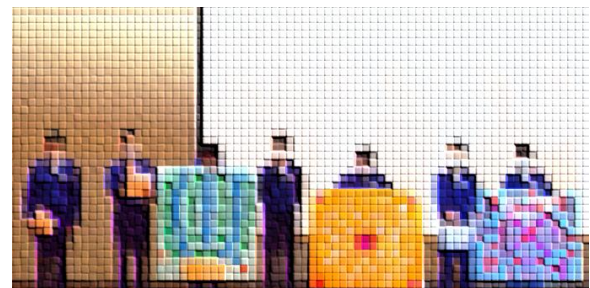
最初に各専門委員会が取り組んだ内容やその結果について発表がありました。いじめに関するアンケートを実施したり、いじめを起こさないための食べ物を紹介したり、全校で標語やタペストリーを作成したことを発表しました。

次に行った話し合いでは、「いじめの気持ちを漢字一文字で表そう」というテーマがあり、以下の漢字が挙げられました。

悪・嫌・遊・楽・軽・怒・恨

7種類の漢字が示すように人の考え方や感じ方は様々です。集会でいじめ防止対策推進法について触れましたが、どんな原因であれ、相手が嫌だと感じれば、それはいじめと定められています。学校も社会も様々な考えをもつ仲間が集まって生活しているので、互いへの気遣いや優しさは欠かせません。生活する中で自分の言動が相手にどう受け止められているのか？辛い思いをしている仲間を見かけた時に、自分は何をするべきか？などを考えたり、確認したりする場になったと思います。

さらに、生徒同士で起こり得る SNS などのトラブルの映像を視聴して原因や対策などについて意見交換をしました。下級生も上級生も共に互いに良い刺激になり、全校生徒でいじめのない学校をつくっていくことの大切さを考える集会になりました。



# 「職場体験学習発表会」

2 学年主任 北 修介

12 月 11 日（金）、校内で「課題解決型職場体験発表会」を開催しました。10 月下旬に 10 事業所の協力のもとで 2 日間の体験活動を行った報告を各自がパワーポイントで資料を作成し、発表しました。生徒は、4 分の持ち時間の中で、2 日間のスケジュールをはじめ、事業所から課された「ミッション」の取組や解決策を報告しました。事業所の方や保護者をお招きすると共に、1 年生にも参観してもらう中での発表は、ほどよい緊張感の中、声の大きさ、話す姿勢など成長を感じられるものでした。

1 学期の仕事調べに始まり、生き方トークから発表会までの間の学習・体験活動が、数年後の就職時、就職後に社会人としての土台になっていたとしたら、この活動を実施した意義があったと言えるのではないのでしょうか。



## 「令和 3 年度 生徒会役員選挙」

11 月 30 日（月）、令和 3 年度の生徒会役員を決める立会演説会と選挙を行いました。

立会演説会では、6 名の候補者がどのような学校にしたいのか、どんなことに取り組むかなどの所信表明を力強く述べました。また、それぞれの責任者が候補者の良さをアピールしました。全校生徒も真剣な態度で演説を聞き、積極的に質問する様子も見られました。



立会演説会後に行われた選挙の結果、以下の 4 名が来年度の生徒会役員として当選し、12 月 7 日（月）の生徒会朝会で認証式が行われました。

### 新生徒会長 T. N

私は生徒会長として全校の模範となり、学校を引っ張っていきます。より良い金井中学校にするために、まずは自分から明るく笑顔で過ごし、全校一丸となって学校を盛り上げていきます。精一杯頑張りますので、全校生徒の皆さん、よろしくお願いします。

### 新生徒会副会長 S. A

僕が生徒会副会長としてがんばっていききたいことは、文武両道の金井中学校にすることです。そのために、全校生徒が楽しめる勉強会や、体を動かす企画を考えていきます。生徒会副会長として全校生徒をまとめられるようにがんばりますので、よろしくお願いします。

### 新生徒会副会長 K. A

私は副会長として、全校の皆さんが楽しいと思える学校にできるように、精一杯頑張ります。また、応援してくださった皆さん、ありがとうございました。今後の活動へのご協力、よろしくお願いします。

### 新応援団長 I. T

生徒会長や副会長と協力して、より良い金井中学校となるように、自分を律して頑張っていきます。また、応援団長として、全校生徒が様々な場面で活躍できるように全身全霊で応援していきます。皆さんよろしくお願いします。

~~~~~ 【 お知らせ 】 ~~~~~

佐渡市と姉妹都市交流を行っている埼玉県入間市の茶業協会より、佐渡市の小中学校児童・生徒へ狭山茶スティックの無償提供の申し出がありましたので、配布しました。緑茶にはインフルエンザを抑制する効果が示されているそうです。ご家庭で飲んだり、うがいでのどを潤したりするのに活用してください。